

平成 2 1 年度

県政世論調査

はじめに

愛知県では、県政の当面する様々な課題について県民の皆様の意向や要望を把握し、県の行政施策に反映するための資料とするため、毎年度県内居住の20歳以上の方々3,000人を対象に世論調査を実施しています。

今回の調査では「地域の住みよさ」、「観光振興」、「COP10及び生物多様性」、「地球温暖化対策」、「特定健康診査・特定保健指導」、「県営住宅の役割」、「愛知の将来方向」の7項目について県民の皆様のお考えをお聞きしました。

調査結果は今後の県政推進のために活用させていただく所存です。

おわりに、このたびの調査にご協力いただきました県民の皆様を始め、関係市町村の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成21年12月

愛知県知事政策局長

小川悦雄

目 次

調査のあらまし

1 調査の概要	1
2 調査対象者の属性	2
3 サンプルデザイン	3
4 この報告書のみかた	8

調査結果

1 地域の住みよさ	
(1) 住みよさ	9
(2) 暮していてよいと思うこと	11
(3) 地域活動の参加経験	14
(4) 地域活動の参加意向	17
(5) 参加したくない理由	20
2 観光振興	
(1) 県外の人に対して愛知県でお勧めできる場所(もの)	23
(2) 観光地を魅力あるものとするための取組	25
(3) 外国人観光客を受け入れるための取組	27
3 COP10及び生物多様性について	
(1) 生物多様性の認知度	29
(2) 開催時期・開催地の認知度	31
(3) COP10会議内容の認知度	33
4 地球温暖化対策	
(1) 地球温暖化問題への関心	35
(2) 地球温暖化対策と生活の利便性との関係	37
(3) 地球温暖化問題を解決するための取組	39

5	特定健康診査・特定保健指導について	
(1)	特定健康診査・特定保健指導の認知度	41
(2)	特定健康診査・特定保健指導を知ったきっかけ	43
(3)	特定健康診査・特定保健指導について知りたいこと	45
6	県営住宅の役割	
(1)	公営住宅に感じているイメージ	47
(2)	県営住宅の役割として期待するもの	49
(3)	公営住宅の戸数に対する要望	51
7	愛知の将来方向	
(1)	人間同士の関係が弱まっていることにより、大きな問題になっていると思うこと	53
(2)	愛知県の産業の活力を維持するために必要なこと	55
(3)	望ましいと思う愛知県の姿	57
	調査票	59
	集計表	71